

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	有限会社 ポプラ グループホーム あじさい 1階	評価実施年月日	平成19年12月10日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名	余湖 波子	記録年月日	平成19年11月22日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>管理者は、指定認知症対応型共同生活介護事業に関わる法令の意義を理解しており、地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとしてグループホームの運営理念を作り上げています。</p>	<p>○</p> <p>愛の減少感におち入らないよう、個々を尊重し、尊厳をもってこれからも取り組んでいきます。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>管理者はホームの運営理念を日常的に職員に話しており、すべての職員がその理念を良く理解しています。 管理者と職員はともに運営理念の深い愛と理解、社会の福祉に対する奉仕をふまえて仕事に取り組んでいます。</p>	<p>○</p> <p>管理者はホームの運営理念を日常的に職員に話しており、すべての職員がその理念を良く理解しています。 管理者と職員はともに運営理念の深い愛と理解、社会の福祉に対する奉仕をふまえて仕事に取り組んでいます。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホームの運営理念を利用案内時の説明文書及びホームの見やすいところに明示し、かつ、入居者およびその家族等に分かりやすく説明しています。</p>	<p>玄関の見やすい所に掲示し、家族・来客・地域の方達が来訪の際、理解していただけるようにしています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>違和感や威圧感を感じさせず、入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関のまわりに草花を植えたり、家庭菜園を作ったりと家庭的な雰囲気づくりに配慮しています。 また、職員一同、隣近所の人と明るく挨拶したり、日常会話をしています。</p>	<p>玄関回りの草花を通して会話がはずむ。 めずらしい花があると持って来てくれる。 利用者さんの「ありがとう」にテレながら喜んでいます。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>ご利用者様とともに行事、地域活動に参加するなどして、地元の人々と交流することに努めています。</p>	<p>夏のあじさい祭りには、近所の方達にも声かけし、参加していただいたり、又、地域のイベントなどにも参加し、地域の人達と交流を持っています。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ホームの機能を、入居者のケアに配慮しつつ地域に解放しています。 老人会の方々などに見学していただくなど、見学は常時受け入れ、認知症の理解や関わり方についての相談対応しています。</p>	<p>地域の方達にホームを開放し、気軽に高齢者の方が立ち寄れるよう取り組んでいます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>管理者はケアサービスの質の評価の意義について、職員に周知し、評価結果をサービス改善に活かしています。</p> <p>利用者一人一人の状態を見、いかにすればより良く安全に過ごせるかを考え、話し合っています。</p>	○	<p>管理者はケアサービスの質の評価の意義について、職員に周知し、評価結果をサービス改善に活かしています。</p> <p>利用者一人一人の状態を見、いかにすればより良く安全に過ごせるかを考え、話し合っています。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議にて、意見を交換し合い、サービス向上に活かすよう取り組んでいきたい。</p>	○	<p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしていくことに取り組んでいきたいと思います。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者と機会あるごとに話し合うようにしており、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>		<p>市町村担当者と機会あるごとに話し合うようにしており、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修などを通じて、地域権利擁護事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、必要な人にはそれらを活用できるよう支援しています。</p>	○	<p>研修などを通じて、地域権利擁護事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、必要な人にはそれらを活用できるよう支援しています。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>機会あるごとに管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学び、話し合っています。</p> <p>虐待はもちろんのこと誇りやプライバシーを損ねるような対応がないよう常に気を配っています。</p>		<p>機会あるごとに管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学び、話し合っています。</p> <p>虐待はもちろんのこと誇りやプライバシーを損ねるような対応がないよう常に気を配っています。</p>
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者の権利・義務を利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し、かつ、入居者及びその家族等へ説明し同意を得ています。</p>	○	<p>利用者の権利・義務を利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し、かつ、入居者及びその家族等へ説明し同意を得ています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見・不満・苦情を常時受け付け、すみやかに管理者と職員はそれについて検討して運営に反映させています。	○	利用者の意見・不満・苦情を常時受け付け、すみやかに管理者と職員はそれについて検討して運営に反映させています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	文書等にて定期的に、またご家族訪問時などに利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告しています。		文書等にて定期的に、またご家族訪問時などに利用者の暮らしぶりや健康状態等について報告しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族等の意見・不満・苦情を常時受け付け、速やかに管理者と職員はそれについて検討して運営に反映させています。	○	無記名アンケートの実施、項目を設定し、記入方法をとるなど、家族の意見をとりいれ、運営に反映させ、よりよいグループホーム作りに取り組んでいきたいと思えます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送り、月1回のミーティング又状況に応じ随時職員が意見をいい、提案出来る機会が設けられており、日々の介護に反映させています。		毎朝の申し送り、月1回のミーティング又状況に応じ随時職員が意見をいい、提案出来る機会が設けられており、日々の介護に反映させています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話合いや勤務の調整に努めている。	前月に、職員に対し、休み希望などを聞き、行事などのイベントに対し、勤務の調整をしています。		前月に、職員に対し、休み希望などを聞き、行事などのイベントに対し、勤務の調整をしています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者が安心して支援を受けられるよう、異動、離職を最小限に抑えるよう努力しています。		利用者が安心して支援を受けられるよう、異動、離職を最小限に抑えるよう努力しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修その他学習の場があれば積極的に職員を参加させています。</p>	<p>研修その他学習の場があれば積極的に職員を参加させています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>研修などを通じて、職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りをしています。</p>	<p>○</p> <p>今後は相互訪問活動、勉強会を定期的に行い、サービスの質を向上させていこう努力していきたいです。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者は、職員の悩みやストレスを解消する方策を取り入れています。</p>	<p>運営者は、職員の悩み・ストレスがたまらないよう気をつけ、楽しく、安心して働ける職場作りに取り組んでいます。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者は職員の介護技術、知識、利用者への対応等の状況を把握し、より良い介護を心がけられる様、個々を又は全体を見ながら向上心をもって働けるよう努めています。</p>	<p>○</p> <p>運営者は、職員が向上心をもって働けるよう、研修など勉強する機会を与え、常に安心して働き続けられるよう心がけています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>利用者からの相談や苦情を常時、職員及び管理者は受け入れ、不安なこと、求めていることの把握に努めています。</p>	<p>利用者からの相談や苦情を常時、職員及び管理者は受け入れ、不安なこと、求めていることの把握に努めています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族の背景、介護状態の把握、施設に対しての要望、意向等の聞き取りと施設サービスの説明、理解を得、本人・家族に安心感を与えるよう努めています。</p>	<p>家族の背景、介護状態の把握、施設に対しての要望、意向等の聞き取りと施設サービスの説明、理解を得、本人・家族に安心感を与えるよう努めています。</p>

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談に来られた本人と家族にとって、最善の支援を見極め、他のサービス利用も含め対応に努めています。		相談に来られた本人と家族にとって、最善の支援を見極め、他のサービス利用も含め対応に努めています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう支え、家族等と相談しながら工夫しています。		職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう支え、家族等と相談しながら工夫しています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	調理や掃除などの場面で、入居者に助けってもらったり、教えてもらったりする場面を作っています。		調理や掃除などの場面で、入居者に助けってもらったり、教えてもらったりする場面を作っています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時の声かけ、利用者のホームでの日常生活の伝達等により、利用者の情報を共有し、より良い介護に向けて努力しています。		面会時の声かけ、利用者のホームでの日常生活の伝達等により、利用者の情報を共有し、より良い介護に向けて努力しています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人の家族構成、現在関係への理解を深め、それに基づいて毎日の介護にあたり、本人と家族の意思の疎通がスムーズに行く様になっています。	○	面会・外出・外泊に対する働きかけ、ホーム主催の事業などによる、本人・家族の交流の場を増やし、よりよい関係が築けるよう支援してます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居者一人ひとりが大切な人と触れあったり、交流する機会が得られるよう、行事等へのお誘いの連絡を行い、関係が途切れないよう支援に努めています。	○	入居者一人ひとりが大切な人と触れあったり、交流する機会が得られるよう、行事等へのお誘いの連絡を行い、関係が途切れないよう支援に努めています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	1日2回のお茶の時間、レクリエーション等なるべく多くの利用者が一同に集える様配慮し、話し場を作っています。		1日2回のお茶の時間、介護員と共にテーブルで話しを楽しんでいる、又、レクリエーション等なるべく多くの利用者が一同に集える様配慮し、話し場を作っています。 レクリエーションは自由参加にしているがほぼ全員が集まっています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去の支援は、入居者や家族と十分話し合った上で行っています。 退去後の行き先も、本人にとって良い結果となるよう支援しています。	○	退去の支援は、入居者や家族と十分話し合った上で行っています。 退去後の行き先も、本人にとって良い結果となるよう支援しています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の求めていることや、思いの把握に努め、入居者が意思表示できるようやさしい声かけや雰囲気作りをしています。		入居者の求めていることや、思いの把握に努め、入居者が意思表示できるようやさしい声かけや雰囲気作りをしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中で、生まれてからの生活歴等を聞かせていただき、参考にしながらケアをしています。		一人一人のコミュニケーションを大事にし、日常の会話の中から、生活歴や馴染みの暮らし方などを把握し、ホームでの対応に役立てています。 思い出話をよく聞かせてもらいますし、歌につられて、その時代を思い出し、話をしてくれます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	職員は、常に入居者を見守りやすい場所にて、入居者一人ひとりの様子を把握するよう努めています。 日々の様子を把握し一人ひとりのケース記録に細かく記録しています。		職員は、常に入居者を見守りやすい場所にて、入居者一人ひとりの様子を把握するよう努めています。 日々の様子を把握し一人ひとりのケース記録に細かく記録しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、全ての職員で、定期的に(緊急案件がある場合にはその都度)会議を開催し、意見やアイデアを生かした介護計画を作成しています。		チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、全ての職員で、定期的に(緊急案件がある場合にはその都度)会議を開催し、意見やアイデアを生かした介護計画を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>3カ月に1度見直しを行っています。 状態に変化があるときには、随時おこなっています。</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>入居者一人ひとりの変化や特徴、それに対応する気づきや工夫を個別のケース記録に記録して、情報の共有、介護計画の見直しに活かしています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		<p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、最適なサービスを事業所の多機能性を活かして提供しています。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○ 地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>		<p>行事等でボランティアの支援を受け、より楽しんでいただいています。 地域の商店での買い物、万が一の場合を考え、警察、消防などにも協力体制をお願いしています。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		<p>管理者は利用者の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーや事業者と連絡をとり、他のサービスを利用する為の支援を行っています。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	○	<p>管理者は利用者の意向や必要性に応じて、地域包括支援センターと情報交換等の連絡を図っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	本人・家族の意向に添った医療機関を受診していただいています。		本人・家族の意向に添った医療機関を受診していただいています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	指定の担当医より診断、治療を受けています。体調の変化がある時は、かかりつけ医師に相談し、指示を頂いています。		指定の担当医より診断、治療を受けています。体調の変化がある時は、かかりつけ医師に相談し、指示を頂いています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所として看護職員を確保し、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。		事業所として看護職員を確保し、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院先の医療機関と連携をとり、早期退院のための話し合いをしています。そうした場合に備えて医療機関との連携をとっています。		入院先の医療機関と連携をとり、早期退院のための話し合いをしています。そうした場合に備えて医療機関との連携をとっています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化、終末期を迎えた際のケアについては本人、家族、かかりつけ医と受診時などに相談して、ミーティング等を通じてその方針を職員で共有しています。		重度化、終末期を迎えた際のケアについては本人、家族、かかりつけ医と受診時などに相談して、ミーティング等を通じてその方針を職員で共有しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、機会あるごとに検討し、支援に取り組んでいます。	○	現在、重度化した利用者の支援をしていますが、今後は更に終末期を迎えていくにあたり、チームとして検討や準備を行っていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入居者が「移り住むことのダメージ」を最小限に食い止めるために家族等とはもちろん、本人に係る保健医療福祉の関係者と十分な情報公開と話し合いを行っています。</p>		<p>入居者が「移り住むことのダメージ」を最小限に食い止めるために家族等とはもちろん、本人に係る保健医療福祉の関係者と十分な情報公開と話し合いを行っています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねることのない言葉かけや対応を行っています。</p>		<p>職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねることのない言葉かけや対応を行っています。</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切にし、それらを促す取り組みを日常的に行っています。</p>	○	<p>動けない、表現出来ない不自由を察知、早目の対応、認知の度合を把握する力を養います。</p>
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせ、食事、トイレなど職員のペースではなく、本人のペースで行なわれています。入居者中心の生活の支援をしています。</p>		<p>一人ひとりのペースに合わせ、食事、トイレなど職員のペースではなく、本人のペースで行なわれています。入居者中心の生活の支援をしています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ホームに美容師さんに来て頂き、カットしてもらっています。時々化粧をしたりマニキュアをしたり、おしゃれを楽しむようにしています。</p>		<p>ホームに美容師さんに来て頂き、カットしてもらっています。時々化粧をしたりマニキュアをしたり、おしゃれを楽しむようにしています。</p>
<p>54</p> <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>テーブルに座って、もやしのひげとりや、いもの皮むきなど一緒にして、どんな料理になるか楽しく話しながら行っています。テーブルふきや食器の片づけなど、出来ることは一緒に行うようにしています。</p>		<p>テーブルに座って、もやしのひげとりや、いもの皮むきなど一緒にして、どんな料理になるか楽しく話しながら行っています。テーブルふきや食器の片づけなど、出来ることは一緒に行うようにしています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつ等の時間等、機会あるごとに利用者一人ひとりの好みのものを楽しんでいただいています。 ただし、過剰に摂取されないよう、量や頻度については管理させていただいています。		おやつ等の時間等、機会あるごとに利用者一人ひとりの好みのものを楽しんでいただいています。 ただし、過剰に摂取されないよう、量や頻度については管理させていただいています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人の排泄のパターンを知り、介助するようにしています。		定期巡回はもとより、その人に合った(ポータブル使用者の方も)排泄パターンに合わせ、時間をみながら誘導しています。 安心して気持ちよく排泄できるよう支援しています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週2回の入浴となっておりますが、本人の希望があった場合は、状態を見ながら、いつでも入浴できるよう、対応に工夫をしています。		週2回の入浴となっておりますが、本人の希望があった場合は、状態を見ながら、いつでも入浴できるよう、対応に工夫をしています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜にゆっくり休めるように、昼間は楽しくゲームをしたり散歩に行ったりして、夜、ゆっくり休めるリズム作りを支援しています。		夜にゆっくり休めるように、昼間は楽しくゲームをしたり散歩に行ったりして、夜、ゆっくり休めるリズム作りを支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者の出来る仕事を作り、楽しく仕事出来るよう支援しています。 そうじき・テーブルふき・洗たくたみ・花の水・玄関のはきそうじなど。		入居者の出来る仕事を作り、楽しく仕事出来るよう支援しています。 そうじき・テーブルふき・洗たくたみ・花の水・玄関のはきそうじなど。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ほとんどの入居者は認知症により、金銭管理は出来ないが、その中でも、家族と話しあい、了解を得た入居者には、少額のお金を自分の財布に入れていきます。 財布をもつことで入居者様自身、買ものを選び、支払うなど、安心感と自信につながっています。 今後も社会性維持のためにも支援していきます。	○	社会性維持のためにもショッピングなどに出掛ける機会をもっと作り支援していきたい。 毎週、金土日は交代でスーパーや市場に買い物に出かける(冬はスーパーのみ)。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご本人の希望にそって、施設周辺の散歩などを職員付き添いのもと日常的に行っています。		ご本人の希望にそって、施設周辺の散歩などを職員付き添いのもと日常的に行っています。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	動物園や公園・飲食店などに他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、外出支援を行っています。		動物園や公園・飲食店などに他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、外出支援を行っています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	入居者が、手紙や電話を日常的に利用できるようにプライバシーに配慮しつつ支援しています。		入居者が、手紙や電話を日常的に利用できるようにプライバシーに配慮しつつ支援しています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるような雰囲気職員は心掛け、湯茶の自由利用等していただき、来訪者を歓迎しています。		気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるような雰囲気を職員は心掛け、湯茶の自由利用等していただき、来訪者を歓迎しています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は行わないということをすべての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践しています。 やむを得ない場合は家族と充分話し合いを行っています。		身体拘束は行わないということをすべての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践しています。 やむを得ない場合は家族と充分話し合いを行っています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような配慮をしています。 やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明しています。		入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は玄関に鍵をかけなくてもすむような配慮をしています。 やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は常に入居者を見守りやすい場所において、入居者の所在や様子を把握し、安全に配慮しています。		行動範囲内の環境整備。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者一人ひとりの状態に応じて注意の必要な物品については保管場所、管理方法を明確に取り決め、かつ、そのとおり実行しています。		入居者一人ひとりの状態に応じて注意の必要な物品については保管場所、管理方法を明確に取り決め、かつ、そのとおり実行しています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	マニュアルを作成し全書職員が対応出来るよう把握しています。		施設マニュアルの充実。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変や事故発生時のマニュアルを定期的に全職員にて検討し、初期対応の訓練を行っています。		急変や事故発生時のマニュアルを定期的に全職員にて検討し、初期対応の訓練を行っています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難経路、救命具、消火器の位置など機会あるごとに検討・確認しています。	○	災害時、地域の人々の協力を得られるよう、近隣の消防団等と連携をとっていきたい。
72	○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居者一人ひとりに起こり得るリスクについてご家族には説明し、理解を得ています。 その対応策についての話し合いをしています。		入居者一人ひとりに起こり得るリスクについてご家族には説明し、理解を得ています。 その対応策についての話し合いをしています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	職員は入居者一人ひとりの身体状態の変化や異常のサインを早期に発見できるように注意しており、重度化や入院を防ぐ努力をしています。 また、その変化やサインを記録し残しています。		職員は入居者一人ひとりの身体状態の変化や異常のサインを早期に発見できるように注意しており、重度化や入院を防ぐ努力をしています。 また、その変化やサインを記録し残しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員は薬の目的等をしっかり把握し、服薬介助・見守りをしています。		職員は薬の目的等をしっかり把握し、服薬介助・見守りをしています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄チェック・排泄物の形状確認、下剤の適宜使用と適正水分の確保、離床時間の拡大・繊維質の多い食事の提供。		排泄チェック・排泄物の形状確認、下剤の適宜使用と適正水分の確保、離床時間の拡大・繊維質の多い食事の提供。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、はみがき・入れ歯洗浄・残渣物の点検などの介助を行っています。 舌苔のケアと含口頼の励行。		毎食後、はみがき・入れ歯洗浄・残渣物の点検などの介助を行っています。 舌苔のケアと含口頼の励行。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量をチェックしています。 体調が悪ければ、おかゆ食にするなど、状態に合わせての支援をしています。		食事量、水分量をチェックしています。 体調が悪ければ、おかゆ食にするなど、状態に合わせての支援をしています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いや消毒などの実行、インフルエンザの予防接種などを実施しています。		手洗いや消毒などの実行、インフルエンザの予防接種などを実施しています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	必要な時に必要な量だけ購入するなどして、食材を長期保存することがないようにしています。 使用後の調理用具等は消毒徹底しています。		必要な時に必要な量だけ購入するなどして、食材を長期保存することがないようにしています。 使用後の調理用具等は消毒徹底しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関まわりに草花をう植える等して、違和感や威圧感を感じさせず、入居者や家族が入りやすく、近隣の住民も訪ねやすいよう、玄関まわりや、建物の周囲に家庭的な雰囲気づくりの配慮をしています。</p>	○	案内板、立て札の設置などの工夫に取り組んでいきたい。
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	ホール、各居室など掃除をし、いつも清潔にする様、心がけています。		ホール、各居室など掃除をし、いつも清潔にする様、心がけています。
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	ホールに出て、テレビを観たり、職員や他の入居者と会話できるようソファやテーブルの位置など工夫しています。		ホールに出て、テレビを観たり、職員や他の入居者と会話できるようソファやテーブルの位置など工夫しています。
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	居室は使いなれた家具や生活用品、装飾品等が持ちこまれ、安心して過ごせる場所となっています。		居室は使いなれた家具や生活用品、装飾品等が持ちこまれ、安心して過ごせる場所となっています。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	気になる臭いや空気のとどみがないように、換気を適宜行っています。また、冷暖房の温度調節は冷やしすぎや暖め過ぎがないように適切に行っています。		気になる臭いや空気のとどみがないように、換気を適宜行っている。また、冷暖房の温度調節は冷やしすぎや暖め過ぎがないように適切に行っています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	すべり止めや要所への手すり等の設置がされ、移動の妨げとなる障害物等も置かないよう工夫しています。		すべり止めや要所への手すり等の設置がされ、移動の妨げとなる障害物等も置かないよう工夫しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレや部屋の目印等、一人ひとり理解できるよう設置し、混乱・失敗がなく、安心して暮らせるように工夫しています。		トイレや部屋の目印等、一人ひとり理解できるよう設置し、混乱・失敗がなく、安心して暮らせるように工夫しています。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	建物の外回りに家庭菜園や庭を作り、水撒き、草取りなどと園芸を楽しんだり、ベンチに座り日光浴を楽しんだりできるようにしています。		建物の外回りに家庭菜園や庭を作り、水撒き、草取りなどと園芸を楽しんだり、ベンチに座り日光浴を楽しんだりできるようにしています。

V. サービスの成果に関する項目		グループホーム あじさい 1階
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない</p> <p>何かを訴えて来た時、又、その日の状態を見て、不安や困ったこと、又、欲求や願いなども聞き入れ、その利用者がより良い暮らしが出来るよう支援しています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>レ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>毎日、お茶の時間、午前、午後、スタッフといっしょにお話ししたり、くつろいだ時間をつくっています。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>一人ひとりの個性を大事にし、その人に合ったペースで生活出来るよう支援しています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>利用者が出来ない部分は援助し、出来ることに対しては、していただき、日常生活にはりを持たせ、一日一日楽しく過ごせるよう支援しています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>利用者が買い物、散歩などに行きたい時は、スタッフが付き添いで出かけています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>利用者が体調の悪い時などは、主治医に相談し、指示をいただいたり、又、受診し健康管理にに努めています。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>レ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>利用者の要望に対しては、出来る限り聞き入れ、ホームで安心して暮らせるよう支援しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>レ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>家族が来訪した時は、利用者の最近の状態を話したり、必要なものがあればお願いしたり、話す機会をおおく出来るよう工夫しています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 レ③たまに ④ほとんどない</p> <p>利用者が年々、高齢になっていき、馴染みの方が来ていた利用者も、来なくなったりしています。地域の方も、イベントのある時など来てくださったり、又、町内会長をはじめ、時々訪ねて来ます。</p>

V. サービスの成果に関する項目 グループホーム あじさい 1階

項目		取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>運営推進会議の役員を地域の方のお願いに訪問したり、グループホームの説明などしたことでも地域の方も理解してくださり、つながりも深まりつつあります。</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>レ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>その日のストレスはその日のうちに解消し、明日に向けて生き生き働けるよう努力しています。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>レ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>ほぼ満足していると思います。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>レ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>おおむね満足していると思います。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

職員は入居者個々の思いをよく理解し日々のケアに生かせるようあたたかく、受容的な姿勢で接しています。
 食事については、業者にまかせるのではなく、利用者の嗜好や日々変化する気候などにあわせて柔軟に献立を組み変えるなどして、手作りで、あたたかみのあるものを常に提供しています。